

当院における制吐対策

催吐性リスク分類	薬剤	対応
高度(催吐性)リスク	EC療法、AC療法 シスプラチン ダカルバジン ストレプトゾシン等	①5-HT ₃ 受容体拮抗薬 →当院ではアロキシ®使用 ②アプレピタント ③デキサメタゾン(注射+内服)
中等度(催吐性)リスク	イリノテカン エピルビシン オキサリプラチン カルボプラチン ドキシソルビシン等	①5-HT ₃ 受容体拮抗薬 →当院ではグラニセトロン®使用 ②デキサメタゾン(注射) ※アプレピタント、デキサメタゾン 内服はオプション
軽度(催吐性)リスク	カバジタキセル ゲムシタビン パクリタキセル ドセタキセル等	①デキサメタゾン(注射) ※当院では薬剤によりグラニセ トロン®使用

※上記対策よりスタートし、患者の症状に合わせて変更していく